

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年十一月度 入選句（投稿総数三千四百二十一句・一般投句数八百二十二句）

特選

イベントを終へし一村秋深む 不破郡垂井町 富田 実郎

七夕、お盆に始まり運動会、敬老の日、体育の日、文化の日、芸術祭、秋祭り、収穫祭の学校、地域、各種団体等秋のイベントは大変多く熱心に盛大に行はれて来たのが総べて終了し、秋深むは秋が終わりに近くなつた頃の淋しい季節感をいい、草木も春の芽吹きから夏の強烈な輝きを経て、秋は紅葉という美しい季節を迎える。この色彩を失つて、一挙に淋しさをますのが日本の山河であり村である。イベントも、完了し村の総べてが淋しくなり、秋深む様子を現はされた素晴らしい句です。

短日や遊び足りない砂場の子 愛知県愛西市 杉浦 喜彦

秋分を過ぎると、昼の時間は次第に短くなり、冬至を頂点として冬は最も日が短い季節で短日です。砂場は学校以外には余り見当りませんが大垣公園の子供の遊び場には有ります。砂を掘るもの、小さなバケツ・カップ・ジョーロ等砂場の遊び道具も沢山出して有り、家から持参する子も居ます。短日で午後五時前後の日暮れの早さでは長時間充分遊べないのを上手によまれた句。子供心をよくよまれたいい句です。

うんどうかい笑顔の花咲くクラスの輪 本巢市 高橋 聡志

運動会は個人競技も有るが、クラスの輪とあるので団体競技をよまれたものと思います。運動会場のクラス全員で応援合戦も含め、放課後や休日に猛練習、猛訓練をされた結果、チームワーク、団結力、協調性のクラスの輪が出来、お蔭で素晴らしい成績を挙げられ、喜びの笑顔の花が咲いたのです。お目出度い事です。中句が良いと思います。

秀逸

ひかえめに桜もみじを見る木因 大垣市 乗鞍 泰裕

初雪はいまかいまかと伊吹山 各務原市 岩佐 友里恵

天高し師匠見送る木因の眼 千葉県柏市 三津木 俊幸

木犀の金の散り花そつと掃く 大垣市 平野 ヒサエ

届きたる里の匂ひの薩摩芋 養老郡養老町 田中 秀子

草と云へ抜くのは惜しい草紅葉 不破郡垂井町 高木 しげ乃

凍雲に思わず伊吹眺めけり 大垣市 けせら・セラ

刈田あとでんと居座はる伊吹山 大垣市 宮脇 和子

暗闇や玉葱匂ふ軒の下 不破郡垂井町 高木 巧み

秋深し独り身寂し家侘し 大阪府羽曳野市 廣石まさやん

入選

草風分けて境の杭を打つ 大垣市 小林 研
 栗飯をほおぼる子どもの笑顔咲く 大垣市 高岡 知世
 夕空に細腕広げ案山子立つ 大垣市 高木 佐知子
 子ども達カサカサならし落葉ふみ 大垣市 伊藤 琴美
 水門川の鯉太らせて秋深む 奈良県橿原市 吉岡 美好
 小鳥来て俳人も来て結びの地 大垣市 佐竹 余史美
 目を細め神輿の子らを待つ翁 大垣市 田中 孝典
 ゴンドラで錦秋ながむ一人旅 大垣市 松永 勝二
 稲穂波羊の群れの歩み似て 海津市 横井 美圭
 冬の朝白い息吐き通学路 大垣市 大西 裕美

入選

秋霖にぬれてほほ笑む石ぼとけ 不破郡垂井町 川瀬 慶泉
 香のみ来て金木屋の影は無し 大垣市 北島 暁子
 冬日和待ち人来たり孫の声 大垣市 けせら・セラ
 行きたくも行けぬ淋しい敬老日 大垣市 中島 正晴
 口の中噴火してをる唐辛子 大垣市 傍島 隆
 七五三父母と祖父母も伴ひて 大垣市 傍島 豊子
 皆息災祖父に報告墓参り 中津川市 田口 愛理
 背伸びして園児のつける赤い羽根 大垣市 澤井 国造
 落ち葉踏むわざと音立て好々爺 静岡県藤枝市 山本 紫苑
 妻の留守秋刀魚一尾の早夕餉 兵庫県神戸市 紫 桔梗

選者吟

爽やかに朝の始まる鶏の声

庄一郎